

第44回経営協議会議事録

日 時 平成23年6月9日(木)10時00分～11時40分

場 所 特別会議室

出席者 (学外委員)
赤岩委員、荒井委員、竹岡委員、鶴保委員、長友委員、安田委員、吉田委員
(学内委員)
学長、辻理事、萩野理事、福田理事、春日理事、加古情報理工学研究科長、
岡本情報システム学研究科長
(オブザーバー)
田中副学長、阿部副学長、宮田監事、船井監事

第43回経営協議会議事録報告承認(発言者名入りの議事録)

議 題

審議事項

1. 規程等の制定について (資料 -1～2)
(学術相談取扱規程)
2. 平成22事業年度に係る業務の実績報告書について (資料 -1～2)
3. 平成22年度決算(案)について (資料 -1～10)
4. 設備マスタープラン(案)について (資料)
5. キャンパスマスタープラン(案)について (資料)
6. 平成24年度概算要求(案)について (資料 -1～3)

報告事項

1. 平成23年度監事監査計画について (資料)
2. 第1期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果について (資料 -1～3)
3. 会計監査人の選任について (資料)
4. 本学の教育の一環として学生が旅行する場合において本学の経費を支弁する
必要がある場合の取扱いについて (資料)
5. 会議費支出基準について (資料)
6. 平成23年度教育研究基盤経費再積算等について (資料 -1～5)
7. 平成22年度外部資金受入状況について (資料)
8. 平成23年度科学研究費補助金申請及び交付内定状況について (資料)
9. 公立はこだて未来大学との学術交流協定の更新について (資料)
10. 留学生交流支援制度(SS&SV)への支援について (資料)
11. 東日本大震災における被害学生への経済的支援(奨学金)について (資料)

議 題

審議事項 1 規程等の制定について（ 学術相談取扱規程）

萩野理事から、平成 23 年 4 月 21 日開催の本会議において出された意見等を踏まえ、学術相談の手続き方法等を定めた学術相談取扱規程を制定したい旨説明があり、これを了承した。

審議事項 2 平成 22 事業年度に係る業務の実績報告書について

萩野理事から、平成 22 事業年度に係る業務の実績報告書について説明があり、これを了承し、今後、役員会で審議の後、文部科学省へ提出することとした。

出された意見は以下のとおり。

(学外委員) 女性教員の人数は増えているのか。

(学内委員) 採用はしているが、退職した人もいるため、あまり大きな変化がない状況である。

(学内委員) 女子学生を増やさないことには、女性教員を増やすことは不可能であり、無理に女性教員を増やそうとすると、逆差別になってしまう。

(学外委員) 予算配分の在り方について、自己評価が となっているが、どのような予算配分を行ったのか。

(学内委員) 昨年からできる限り研究経費を減らさない等努力をしながら予算編成を行っており、今年度については、各教員に一定額の研究経費を必ず配分し、研究に支障が出ないように配慮した。

(学内委員) 若手教員を優遇するということから、配分する研究経費において、職階で差をつけず、一律とした。

(学外委員) ホームページにおいて、全国大学サイト・ユーザビリティ調査で、総合 1 位を獲得されているが、どのような会社が評価したのか。

(学内委員) 日経 B P 社が評価した。

(学内委員) 使いやすさ、見やすさ、リンクの仕方等の要素ごとに評価され、その総合評価において今回 1 位になった。

(学外委員) もっと積極的に情報発信を行い、グローバルな評価に耐えていかななくてはいけない。

(学内委員) 本学はグローバルというところでは不十分だと思うので、今後、積極的に取り組んでいきたい。

審議事項 3 平成 22 年度決算（案）について

辻理事から、平成 22 年度決算の概要（貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書、業務実施コスト計算書及び利益の処分に関する書類（案））について説明があり、これを了承した。

次いで、財務諸表、事業報告書及び決算報告書は、今後、役員会での審議、監事及び監査法人の了承を得て、文部科学省へ提出し、承認を受ける旨説明があり、これを了承した。

出された意見は以下のとおり。

(学外委員) 産学連携において、収入を重視しているのか、もしくは、産学連携を行うこと自体を重視しているのか。

(学内委員) 両方重視している。運営費交付金が減っており、使用しやすいお金が減っていることから、産学連携を行いながら、研究を活性化し、資金を得たいと考えている。

(学外委員) 研究成果を資産計上しているのか。

(学内委員) 特許権等は資産計上しており、共同研究の相手に売ることにはあるが、まだ、大きな収入にはなっていない。

(学外委員) 本年度の寄附金収入が他年度に比べて減っているが、何か理由はあるのか。

(学内委員) 景気が厳しいことが一番の理由である。

(学内委員) 本学だけではなく全国的に、奨学寄附金や共同研究は相当減っている。

(学外委員) 運営費交付金は減る一方なので、授業料、自己収入及び産学連携を増やすしかないのでは。

(学内委員) ここ数年、産学連携は減っていて、特に大企業との連携は非常に厳しい。

審議事項4 設備マスタープラン(案)について

萩野理事から、設備マスタープランについて、昨年度の概算要求において予算措置された設備及び自助努力により整備した設備があったことから、年度別の設備整備計画等の見直しを行った旨説明があり、これを了承した。

出された意見は以下のとおり。

(学外委員) 買い方、リース等の工夫をして、出来る限り最新の設備を研究者が使えるようにしていく必要があるのではないか。

(学内委員) 今後、ご意見を反映出来るよう、努力していきたい。

審議事項5 キャンパスマスタープラン(案)について

辻理事から、キャンパスマスタープランについて、当面の施設整備計画等の見直しを行った旨説明があり、これを了承した。

出された意見は以下のとおり。

(学外委員) 地域貢献を踏まえた体育館の防災拠点化整備について、災害時、市民が多数避難できることも前提で、今後、詳細について打ち合わせを行いたい。

(学内委員) 是非、お願いしたい。

審議事項6 平成24年度概算要求(案)について

辻理事から、教育研究事業関係の概算要求事項について、事項の概要(プロジェクト分・基盤的設備等整備分)の説明があり、これを了承した。なお、プロジェクト分については継続事業を2件、新規事業を2件要求することとし、また、基盤的設備等整備分については、設備マスタープラン整備計画のとおり要求することとした。

次いで、施設整備関係の概算要求事項について、キャンパスマスタープランに基づき要求する旨説明があり、これを了承した。

なお、概算要求の要求順位については学長に一任することとした。

報告事項1 平成23年度監事監査計画について

船井監事から、平成23年度監事監査計画について、監査の基本方針を踏まえ、以下の監査事項を重点的に監査する旨報告があった。

教育力の向上及び質の保証に関する体制及び方策について

外部資金の獲得に向けた体制及び方策について

危機管理対策について

学生の就職支援の取組状況について

報告事項2 第1期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果について

梶谷学長から、本学の第1期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果が確定した旨報告があった。

報告事項3 会計監査人の選任について

梶谷学長から、文部科学省より、本学の会計監査人として文部科学大臣に推薦した新日本有限責任監査法人が選任されたとの通知があった旨報告があった。

報告事項 4 本学の教育の一環として学生が旅行する場合において本学の経費を支弁する必要がある場合の取扱いについて

梶谷学長から、本学の教育の一環として学生が旅行する場合において本学の経費を支弁する必要がある場合の取扱いについて、5月11日に全学へ通知した旨報告があった。

報告事項 5 会議費支出基準について

梶谷学長から、本学における会議、諸行事等の実施に際して、飲食物を提供する必要がある場合の取扱いについて、基準を設けた旨報告があった。

報告事項 6 平成23年度教育研究基盤経費再積算等について

梶谷学長から、平成23年度教育研究基盤経費について、平成23年度予算編成方針に基づき、平成23年4月1日確定員数により再積算した旨及び平成23年度教育研究設備維持運営費の配分上限額内訳について報告があった。

報告事項 7 平成22年度外部資金受入状況について

梶谷学長から、平成22年度の奨学寄附金、共同研究及び受託研究の受入状況について報告があった。

報告事項 8 平成23年度科学研究費補助金申請及び交付内定状況について

梶谷学長から、平成23年度の科学研究費補助金の申請及び交付内定状況について報告があった。

報告事項 9 公立はこだて未来大学との学術交流協定の更新について

梶谷学長から、公立はこだて未来大学との学術交流に関する協定の有効期間が平成23年6月1日に満了となったが、学生及び研究交流等の実績をこれまで上げており、更なる教育的、学術的交流の発展が期待できることから、当該協定を更新することとした旨報告があった。

報告事項 10 留学生交流支援制度（SS&SV）への支援について

梶谷学長から国際交流センター運営委員会において検討を行った平成23年度留学生交流支援制度（SS&SV）の計画申請書を日本学生支援機構へ提出した旨報告があった。

報告事項 11 東日本大震災における被害学生への経済的支援（奨学金）について

梶谷学長から、東日本大震災電気通信大学学生義援金等を財源とした被害学生への経済的支援について、被害状況確認の経緯、支援内容及び認定等基準の説明があり、次いで、対象学生から被害状況等の確認を行った結果、16人の被害学生に奨学金を、22人の被害学生に修学支援一時金を支給することとした旨報告があった。

（閉会 11時40分）

[配付資料] -----

- 1 . 電気通信大学学術相談取扱規程 (案)
- 2 . 学術相談フローチャート
- 1 . 平成 2 2 事業年度に係る業務の実績に関する報告書について
- 2 . 平成 2 2 事業年度に係る業務の実績に関する報告書 (案)
- 1 . 平成 2 2 事業年度財務諸表 (案)
- 2 . 平成 2 2 事業年度事業報告書 (案)
- 3 . 平成 2 2 年度決算報告書 (案)
- 4 . 電気通信大学総事業費概要
- 5 . 電気通信大学総事業費概要 (平成 1 7 年度 ~ 平成 2 2 年度) 経年推移【収入】
- 6 . 電気通信大学総事業費概要 (平成 1 7 年度 ~ 平成 2 2 年度) 経年推移【支出】
- 7 . 施設・教育研究設備整備の例
- 8 . 教育研究等の取り組み例
- 9 . 平成 2 2 年度決算の概要について
- 10 . 業務達成基準適用プロジェクト事業について
- . 設備マスタープラン (案)
- . 電気通信大学キャンパスマスタープラン (案)
- 1 . 平成 2 4 年度概算要求に係る特別経費の概要〔プロジェクト分・組織整備〕
- 2 . 平成 2 4 年度概算要求に係る特別経費の概要〔特別経費 (基盤的整備等整備分)〕
- 3 . 平成 2 4 年度概算要求事項 (施設整備費関係)
- . 平成 2 3 年度監査計画の提出について
- 1 . 国立大学法人電気通信大学の第 1 期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果 (評
定一覧)
- 2 . 第 1 期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果
- 3 . 国立大学法人・大学共同利用機関法人の改革推進状況【第 1 期中期目標期間】
- . 国立大学法人における会計監査人の選任について (通知)
- . 本学の教育の一環として学生が旅行する場合において本学の経費を支弁する必要がある場
合の取扱いについて
- . 国立大学法人電気通信大学会議費支出基準
- 1 . 平成 2 3 年度教育研究基盤経費再積算
- 2 . 教育研究設備維持運営費配分上限額内訳
- 3 . 平成 2 3 年度教育研究設備維持運営費に係る予算配分上限額について
- 4 . 平成 2 3 年度教育研究設備維持運営費使用計画書
- 5 . 教育研究設備維持運営費の具体的な配分手順について
- . 外部資金受入状況一覧
- . 平成 2 3 年度科学研究費補助金申請及び交付内定状況
- . 公立はこだて未来大学との学術交流協定の更新について
- . 平成 2 3 年度留学生交流支援制度 (ショートステイ、ショートビジット) 計画申請書
- . 東日本大震災における被害学生への経済的支援 (奨学金) について

[参考資料]

- 1 . かじとーく (No . 4 0 ~ 4 1)
- 2 . 調布電通大どおり (No . 2 7)
- 3 . 平成 2 3 年度出張講義のご案内